

# Cente Technical Information

発行番号	002-0014	Rev	第1版	発行日	2013/06/14
題名	複数I/Fのうち1つをリンクダウンさせると、別I/Fも通信できなくなる ことがある現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	・Cente IPv6 Ver.1.00 - Ver.1.43 ・Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.13 ・Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.13				
関連資料	なし				
<b>【該当するユーザ環境】</b> ・複数I/Fを使用するマルチIP環境にてIPv6を使用しているユーザ。					
<b>【障害内容】</b> 同時に複数I/Fを使用するマルチIP環境で使用している場合、どれかのI/FでEthernetケーブルを抜くなどI/Fをリンクダウンさせても、他のI/Fではその影響を受けずに通信可能です。しかしIPv6使用時にこれを発生させると、タイミングによっては内部で持っている送信パケットバッファが枯渇し、通信ができない状態となります。					
<b>【発生理由】</b> リンクダウンが発生すると、IPv6用の内部情報をクリアします。このとき、その処理はリンクダウンが発生したI/Fのみで行い、他の通信中I/Fの情報は保持する必要があります。この部分の処理が不足しており、どれかのI/Fでリンクダウンが発生すると全I/Fのタイマを停止させていました。そのため、近隣者要請などのタイムアウトが発生しなくなり、解決待ちとなっている送信パケットが解放されず、最終的には空き送信パケットバッファが枯渇していました。					
<b>【回避方法】</b> ・ソースコードを修正し、リンクダウン時のクリア処理を正しく行う。 (変更箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)					
以上					